

組織であります。その設立にあたりましては「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」という理念が掲げられております。

東京が元氣であるためには、奥多摩が元氣でなくてはなりません。高齢者皆様が元氣で暮らせるまちづくり、次代を担う子どもたち、そして私たちを含めた全世代のために全力を尽くす決意であり、「みんなでつくる奥多摩」をスローガンに私が先頭に立ち、職員と一丸となって、町民皆様の考えや思いを斟酌しながら、町の将来を見据えて着実に歩みを進め、町政の進展を図ってまいれる所存であります。

次に、「第6期奥多摩町長期総合計画」の策定に向けた取り組みでは、「住民ワークショップ」や「第6期長期総合計画の策定に向けた意見募集」でいただいたご意見を踏まえ、多摩大

力のもと、若手職員10名によるワーキンググループにおいて、それぞれのコンセプトに基づく、具体的な「まちの将来像」や施策の方向性などについて、役割分担のうえ、執筆作業を行っております。

今後、長期総合計画の策定に関する調査及び審議を行うための審議会を設置するとともに、ワーキンググループが作成する素案を基に「住民ワークショップ」を開催する予定であります。

次に、庁舎建設整備事業では、建設用地の取得が完了し、3月に実施した住民説明会やパブリックコメントなどでいただいたご意見などを踏まえつつ、若手職員等で構成する「新庁舎における職場環境検討委員会」を通じた全庁職員からの意見を盛り込んだ「庁舎建設基本設計書」が完成いたしました。

この設計図面等につきま

しては、町民皆様や議員皆様をはじめ、様々なステークホルダーの方々にもご覧いただき、ご意見を伺う機会を設けてまいります。

今後は、実施設計作業を進める中で、アクセスに関する協議・調整を行いながら、令和7年度の着工を目指してまいります。

また、近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害が発生している状況を鑑み、基本理念に掲げております

「誰もが親しみやすく、訪れやすい庁舎であるとともに、地域住民の安全・安心を確保するため、災害時には危機管理対応を果たす『防災拠点』としての機能、そして地域コミュニティの活性化につながるような、一人ひとりがイメージする『奥多摩らしさ』を併せ持つ庁舎」を目指してまいりますので、ご理解並びにご協力を賜りますようお願いいたします。

申し上げます。

次に、JR東日本と株式会社さとゆめの共同出資会社「沿線まるごと株式会社」では、沿線全体をホテルに見立てる地域活性化プロジェクト「沿線まるごとプロジェクト」の中核となる古里地区の古民家を活用した「Satoyogu（さとろーぐ）」のレス

トラン及びサウナが、客室棟に先立ち、先月（5月）オープンいたしました。このオープンを機に、「青梅線沿線をまるごと楽しめるホテル」の世界観を構築し、新たな滞在型観光、マイクロツーリズムの創出へ向け、引き続き、連携を図ってまいります。

今後も民間事業者と連携を図りながら、町内に点在する空家や町有財産の有効活用にも積極的に取り組んでまいります。

いずれにいたしましても、これまでの経験と人脈を最大限に活用し、町民皆

様からいただきました町政に対する思いやご意見をしっかりと受け止めさせていただき、町政の発展に向け、全力で取り組んでまいります。

今後の町政運営につきましては、町民皆様、事業者皆様との協働及び議員皆様との議論を踏まえ、町民皆様が安全で安心して生活できますことを基本として、様々な施策に優先順位を付け、取捨選択をし、一歩一歩着実な町政の進展を図ってまいりますので、町民皆様、議員皆様の絶大なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。2期目の就任にあたりまして、私の所信表明とさせていただきます。

